

寿珠の交換を行い、式師様御発声の元、固めの盃を皆で交わし、般若心経を誦経して、今までの全てのご縁に感謝申し上げ仏前結婚式が結ばれました。

その後、場所を移して行われた披露宴ではご両家にゆかりの深い二百名を超す方々がお祝いにお集まり下さいました。

ご祝辞は、式師をお勤めいただいた東老師、新郎が永平寺で安居していた折に大変お世話になった札幌中央寺南澤道人老師に頂戴いたしました。宴中、善光寺ファミリーでマイウェイを合唱するなど、盛大に二人の門出をお祝い頂きました。

最後に「今まで頂いたご縁、皆様のご芳情に感謝し、更に一僧侶、善光寺の住職として精進する事をお誓い申し上げます」と住職が挨拶をしてお開きとなりました。ありがとうございました。

ニ ュ ー ス ・ ア ラ カ ル ト



ご本尊様に結婚の誓約を行った博志住職と真由美さん

●●●●●●●●●●●●●●●● 福田孝雄老師を山形に訪ねて

数年前まで、善光寺の一斉法要などで、ご法話をいただいた福田孝雄老師は現在、山形市の高松寺でご住職として活躍されています。七月、善寶寺を訪れた博志住職とその一行は、その足で福田老師のもとを訪れました。

大圓大和尚と駒沢大学大学院時代の同窓で三心会の会員でもある福田老師は大学院修了後も長く寺を持つことなく、横浜に居を構え、仏教研究を続けておられました。そして、その仏教に対する深い造詣から、善光寺でのご法話などで私たちを導いてくださいました。

二年前、その福田老師が縁あって、故郷、山形の高松寺を継承されることになりました。学生時代からずっと東京、横浜で暮らしておられた福田老師だけに、当初、山形の生活にも戸惑

— ニュース・アラカルト —



左より、ご子息智昭さん、奥様、福田老師、博志住職、東郷総代

いがあったようですが、今ではすっかり地域の生活習慣にも慣れ、奥様や善光寺でもお手伝いをいただいたご子息智昭さんとともに高松寺を守っておられます。

博志住職との懐かしい会話の中では「大圓和尚の仏教活動は宗旨という枠の中で実践されることに苦労しておられたようです。その度量の大きさはもはや宗門を超えています」と、在りし日の大圓和尚の姿を振り返っていました。



高松寺住職福田孝雄老師

ニュー・アラカルト

●●● 大乗寺・徹通禪師七百萬御遠忌に随喜

去る平成二十年十月十一日から十四日まで金沢市大乗寺にて永平寺三世、大乗寺開山徹通禪師の七百萬御遠忌法要が厳修されました。

大乗寺には昨年五月に檀信徒約七十名による参拝旅行を致しました。(大乗寺について詳しくは成寿37、38号を参照下さい)

山主の東隆眞老師にはその際、大変よくして頂き、また今年の五月には博志住職の結婚式での式師もお勤めいただいております。

今回の御遠忌にあたり、十三、十四日に住職と前平師が随喜致しました。

両日共、秋晴れの天候に恵まれ、時おり涼風が吹き抜ける大乗寺の山内には入りきれない程の檀信徒の方々、随喜御寺院の方々が参詣されていました。

十三日の速夜諷經導師は総持寺前貫主の板橋興宗禪師、十四日の御正当猷香諷經、猷供諷經は総持寺貫主の大道晃仙禪師、永平寺貫主の福山諦法禪師が導師を勤められました。

法要中、徹通禪師を「道元禪師と瑩山禪師をつなぐ宗門の大恩人なり」と遺徳をたたえる『疏』が読み上げられ、この御遠忌のテーマである徹通禪師の顕彰の意が表されました。

先代住職が健在であれば、旧知の東老師が厳修されたこの御遠忌の円成を大変喜ばれた事に想いをはせ、また仏縁によってこの場所に随喜させて頂いた事、感謝申し上げます。

この春より上山して修行に励んでいる善光寺徒弟の戸澤洋太師にも久しぶりに会いました。頑張っている姿を見て、安心すると同時に今後の更なる精進を期待いたします。

ニユー・アラカルト



修行中の戸澤洋太師を囲んで

